



格闘娘

墮壊

計画

ある日、ティオーアの経営する居酒屋に一通の手紙が届いた  
差出人は書かれていなかった

**差出人……がない？ん？**  
**私宛みただけど、誰からだろ？**

不思議に思ったティオーアは手紙を開けたが  
真っ先に目に入ったのは写真だった

**これ……マオンッ？**  
**どうしてっ？どういうこと……**

その写真には目隠しされ、手足を縛られたマオンの姿が写っており、  
あまりのショックにティオーアは動転した

**これって誘拐？監禁？誰がこんなこと……どういうことなの？**

手紙には

ティオーア一人で町外れにある小屋まで来いと書かれていた  
子供を助けたければ必ず一人で来いと……

マオンに何かあってはならないと、ティオーアは要求を呑むことにした  
嫌な予感はしていた。

しかし助けるすべも相手もわからないのでは  
どうしようもない。

ここは要求を呑むのが一番良いと判断したのだった

**私が何とかしないと。**  
**みんなに知らせるとマオンがもっと危険に**  
**さらされるかもしれない**

活動をともにしているメンバーは出払っている

この事実を知っているのは自分だけで、

何より荒っぽい仲間に話して、事態が悪化するのは避けたかった

そしてティオーアは指定された小屋へ一人向かった

**ここね**  
**マオン無事でうて。**

薄気味悪い小屋だった  
窓がなく、何に使われているのかわからない建物だった

**ふう……**  
**とにかく話を聞かないと。**  
**マオン待って……**

気持ちを落ち着かせてティオーアは小屋の扉を開けた……

真っ暗・・・モーター音の  
きたぜ！押さえる！  
キヤツ！何？  
へっ。本当に一人できやがった。  
よし。押さえたか？

こっちの足押さえたよー。  
といかもう使ってるー。

こっちもOK  
胸わしづかみにしたよ

まっ  
ツ

カシ

カシ...

何！  
放して！  
カシ

いやっ！放して！  
ガキを取り戻しに着たんだろ？  
だったら暴れるな！  
あなたたちがマオンをさらったの？  
ああそうだ。わかったら抵抗するなよ。  
よしっ。明かりをつける。  
じっくり弄ってやろうぜ。

よし  
右足押さえた  
ティ〇アちゃん抵抗しないでねー

てっ

てっ

てっ

てっ

さすがのアンタもガキを人質に取られたら何もできないよな？  
マオンはどこ？マオンを返してっ！  
へへ。そりゃあアンタ次第だぜ  
俺ら溜まってんだ。発散させてくれよ  
ふざけないでっ！こ、こんなことやめてっ！  
抵抗してもいいんだぜ？人質がどうなってもいいならな。ははは  
くっくっく。どうしてこんなことするのっ？  
アンタらに原因があるんだぜ  
私達？

ティオーアちゃんの汗  
良い匂いだ  
肌もきれいだし、  
たまらないー

気持ちいいの？  
乳首たつてきてるよ

あめ、ひざの裏、汗で湿ってて  
すく気持ちいいよ  
もっと激しく動いちゃお

足もしなやかできれいだな  
おマ○コの具合も  
見とかなきゃね

最近のアンタらの活動が目につくんだよ。お灸をすえるところからのお達しだ  
だったらこんなことしなくても話し合えばいいじゃないっ！  
そう思ったんだが、こいつらがアンタのファンで、やりたいって言うんでな。  
たまには部下のわがままも聞いてやらないとな  
マ○ンは関係ないでしょっ！子供を人質にするなんて最低よっ！  
抵抗されると面倒なんぞな。まあ抵抗してんのを無理矢理ってのもわるくないが  
(なっく、何なのこの人たち)  
まあこっちが満足するまでがんばってくれよ。ははは。

えろっく

れろっ

ムギョ  
ムギョ  
ムギョ

クニョ  
クニョ

ツツ  
ツツ

ギョッ

てっ

てっ

どうだい？知らない男達に弄られる感覚は？  
も、もういい加減にして……！  
なんだ、気持良くないのか？というかアンタ処女か？  
そっ……そんなのあなたに関係ないでしょ！  
どうなんだ？金髪野郎に抱かれたことあんのか？  
知らないわ！  
正直に答えるよ。こっちはガキ預かってんだぜ！  
でもマ○ンのため……  
……あ……あるわ……  
ほう、そうかい  
処女なら丁寧に扱ってやろうと思ったんだが  
その必要はないな  
おい、お前らもっと弄ってやれ  
もっもうやめて！

はあはあ……  
ティ○アちゃんの足気持ち良い！  
腰勝手に動いちゃうよ

乳首がいいの？  
体ビクビク動いてるよ  
息も少し荒くなってるし

髪の毛使うよ、  
ティ○アちゃん  
きれいな髪、汚してあげるね

おマ○コやわらかいね。  
少し湿ってるけど  
汗なのかな？



おいおい やらしい音がココまで聞こえてるぜ どういうことだ？ん？

うっ！やめてっ！触らないで！

はは、触つてほしいってよ

こいつらの前戯は

金髪野郎と比べてみてどうだい？

気持ちいいが？

こんなの気持ち悪いだけよ！

もういい加減にして！

そう言うなよ、こいつらアンタの事

好きだから頑張ってるんだ

はは、もう出そうだってよ

受け止めてやりな

えっ？

乳首硬くなってきたよ  
知らない男に触られて感じる  
なんて、意外とエッチなんだね

ティオアちゃんの髪  
キレイで気持ちいいよ  
ホクもうイキそうだよ

あー！  
たあめ？

はあはあ...  
ティオアちゃんの足気持ちいい！  
もう出ちゃいそう

あれ？  
めるめるしてるよー  
ティオアちゃん感じてるの？

ゼツ  
ゼツ  
ト  
ソ

ゼツ

ゼツ

う  
ち  
の  
こ  
の  
こ  
ろ

う  
ち  
の  
こ  
の  
こ  
ろ

ガツ

ゼツ

ゼツ



はは、やっぱり感じてたんだな、糸引いてるぜ  
うっ・嫌・！  
精液で汚されてるアンタもエロいな  
ガキのためとはいえ、弄ばれて  
感じてるだもんな  
エロくないはずがねえ  
あ、あなたたちが無理矢理してるんでしょっ！  
最低よっ！  
感じてるのは事実だろ？  
さあ。俺もそろそろ参加するぜ  
たのしませてくれよ

おマ○コ濡れてるんだね  
これからもっと  
感じさせてあげるからね

髪汚れちゃったね  
でも気持ちよかったよ  
ありがとね

へへ  
やっぱり濡れてるね  
糸引いてるよ

うっ  
出ちゃった・  
ティ○アちゃんの足、  
気持ちよかったよ

ドクン  
ドクン  
ドクン

ドクン  
ニ  
ゼブルル

セク

ギョ

ズズ

クワ  
クワ

ハッ  
ハッ

セク

セク





お、お願い・もうこんなことやめてほしいもい  
アンタががんばってこ奉仕してくれたら、すぐに終わるさ。  
さあ、舐めるんだ。

どうした？ほら、がんばれよ。  
俺をあの金髪ヤローだと思えばいいんだよ。  
いつもやってんだろ？え？

そっ、そんなわけないでしょ！変な事いわないで。。。  
どっちにしる、ガキを助けたきややるしかないんだ。やれよ。  
くっくっ

それだ・それでいい。

良い腰付きだな  
感度もいいみたいだし  
チ○コこり擦り付けてるだけで  
腰動かしてるね

ヒクッ

スィ  
スィ

スィ

ガシッ

お  
お  
お

中々うまいじゃないか  
金髪ヤローとやりまくってるだけあるな  
そんなことないって言うてるでしょ！  
なんだ？相手してほしいけど、  
相手にされてないのか？  
そ、それは。。。  
図星かよ。  
まあ安心しろ。俺達がたっぷり相手してやるから  
嫌よっ！もうマ○ンを返して！  
うるせえな。  
その口塞いでやるぜ！

お  
お  
お

うぐっ！  
どうだ？  
これがおチンポの味だ。

（うぐっ）  
もつと舌を使って舐めて、吸うんだ。  
唾液ももつと出して、ジュボジュボやれよ  
しつかりやらねえと終わらねえぞ。  
（は、早く終わらせないと、舌、）  
ぐじゅぐじゅっ。じゅるる。。。

（くっ）  
いいぞ。いやらしい音だ。  
くっ。。。

おお。。  
ティ○アちゃんのケツやわらかいよ  
がまん汁がとまらないー

ティ○アちゃんまして  
エロいなー  
ますますファンになっちまうぜ

いいなー  
おれもじゃぶってもらいてー

ガッ

グイッ

グイン

グイッ

ググ...

ググ...  
ググ...  
ググ...

良い感じだ。  
しかし先だけじゃ満足できねえな  
（え、何をする気、）  
もつと奥まで啜えるんだ。  
根元までな。

んっ！んっ！  
（そんなの無理よー）  
ああ？苦しいのか？  
まあいい。手伝ってやるさ、力ずくでな。  
んー！  
や、やめてー！

ググ...  
ググ...

はは  
うまそうに啜えやがって  
喉の奥まで入ってるのがわかるぜ  
うぐぐ  
（く、苦しいっ・・・大きすぎる・・・）  
金髪野郎の比べてどうだ？  
俺のはでけえだろ？

生チンポを生ケツに  
こすりつけるよー  
裏筋でケツ刺激されて  
感じてるの？

良いケツだなー  
突かれる度にブルブルしてる

おお！  
そんなに奥まで入るんだ  
後でやってもらおうー

グー

！！

ガ  
バ  
バ  
バ  
バ  
バ

ググ...

ようし  
じゃスパートかけるぜ  
う、うぶっ（こ、これ以上は・・・）  
そっ嫌がんなよ  
ちゃんと手伝ってやるから  
イラマチオってやつだ

多ユボ、多ユボ、多ユボ、多ユボ。。。  
いい表情だな  
もつと吸って俺をイカせてくれよ  
んんんんん！！！！  
（これは、耐えられない！！  
口を離さないよ。。。）  
おおっと逃げられねえぜ  
啜え続けるんだ  
もつとしゃぶれよ  
んん！！く、苦しい！！

ああ  
ティ○アちゃんケツ気持ち良い  
出ちやいそっ。。。

パン

アハハ

エロい音だなー  
ジュボジュボいってるよ  
ティ○アちゃんがこんなこと  
してるなんて。。。

ググ...

すごいイラマ  
こんなの見たことないよ..  
さすがティ○アちゃんだね

ガッ  
ンズン！！  
ンズン！！  
ンズン！！

ジュボジュボ  
ジュボジュボ  
ジュボジュボ

ああー  
そろそろイクぜ  
うくっ？（え。。このままで？）  
口の中にたつぶり注いでやるからな  
しっかり受け取れよ！  
んんんん！！（ダメ！ダメ！）  
うっ。。イクぜっ！！

んんんんん

うっっっ

たっぷり出たぜ

これが精液の味だ、しっかり味わえよ

うっっっ・んんんんん

セックス

口にいっぱい精液入ったね  
精液味わうのは初めて？

口こんなに犯されてるのにかわいいねティオーちゃん  
もっと犯したら  
もっとかわいくなるのかな

ドビュ

うっっっ  
ティオーちゃんの  
パンツの中に出しちゃった

パン

ドクン

うっっ  
!!

ドク  
ドク



うっっっ……(何にもない……むねさ……)

ふー  
一発出しただけじゃ  
やっぱりおさまらねえな  
えっ……もういいでしょ……  
マオンを返して……  
おマ○コ濡らしておいて何言ってるんだ  
アンタももっとなんかよくならないだろ  
これからどうなるか……わかるよな？  
いっ……イヤ……イヤ……イヤ……

ああ  
ティ○アちゃんのケツに  
かけちゃったー

どうティ○アちゃん  
精液おいしい？  
あとでもっとあげるからね

うあー  
口から溢れてるよ  
多すぎて  
飲みきれなかった？

うっっっ……

イヤ……

はあ

はあ

はあ

はあ

うっっっ……

はあ



さあ足広げて  
おマ○コ・見せな!  
嫌!やめてっ!

おお、びったり閉じてるな  
使いこまれてないきれいなおマ○コだぜ  
見ないで。(最悪...このままじゃホントに...)  
へへ  
もう濡れて垂れてきてんじやねえか  
んじや中の具合を見てみるか  
ガキのために最後までがんばってくれよ  
うっ...マ○ン...

ああもう我慢できない  
手でやってよ  
先を握るんだよ

見ないぞっ!  
いやっ

ボクは髪だ  
きれいな髪は興奮するな!

ボクも握ってよー  
ティ○アちゃんに握ってもらえるなんて  
夢みたいだ!

が、あ

トウッ

ヒッ

セッ

トッ



おお  
想像通りかなり締め付けが強いな  
しかも肉厚だ  
ヌルッ。ウゼユ。。  
あっ！

初めてかわいい声出したな  
まだ指入れただけだぜ  
あ。あ。あ。どうして。声が出ちゃう。。。  
声が出てしまったら？  
感じてるんだな。  
イかせてやるよ  
い。い。い。いく？  
なんだ？イツことねえのか  
まあイけばわかるさ

良い声出すね  
犯りがいあるよ  
もっと声聞かせてよ

ほら  
指入ってるの見える？  
しっかりくわえこんでるよ

ティオアちゃんのこんなエロい声聞けて  
幸せだな  
ずっと聞いていたいな！

あ  
あ  
ん

ガッ  
ガッ

ヌル  
ヌル

ア  
ア  
ア







あんっ！あつっ！  
あああああああああつっ！  
プシユウウウウウ

おっ  
イっ  
潮吹いたぜ。どっだ？  
頭真っ白になるくらい気持ちいいだろ？

（何これ。本当に頭が真っ白。カも入らない。）  
イクのも潮吹きも初めてだろ？  
初めてが知らない男の指とはな。  
金髪野郎は何やってんだまつたく。  
じゃ中の具合も良くなつてきたじ。  
そろそろぶち込むか。  
いや・ダメ

おおおお  
すごい潮吹きだね  
初めてとは思えないよ

ああんっ！あんっ！  
あああああ

いいねー  
ティオーちゃんの絶叫  
かわいいね  
もつと聞かせてよ

おーイったね  
気持ちよかった？体もビクビクなって  
喜んでるよ









ああっ！あんっ！ああう！ああっ！あんっ！  
どうだ？気持ち良くて壊れそうたる？

金髪野郎はごこめで激しく  
突いてくれねえだろうなあ  
ああっ！いやああっ！

ははは  
金髪野郎って言うとかまじり強くなるな  
あいつとヤツんの思い出してんのか  
ああっ！あああっ！

くっ  
俺もそろそろ限界だぜ  
腔中に出してやるからな  
いやああ！中はやめて！  
遠慮せず受け取れ！  
イクぜ！！

ああティオーアちゃん  
ボクもイキそうだ  
熱い精液かけてあげるね

ああっ！あん  
ああっ！あああ

激しく突かれて  
おマ○こめくれあがってるね  
すくエロいよ

そう、いいよ強く握って  
一緒にイこうティオーアちゃん  
一緒に気持ち良くなろう

パチン

パチン

パチン

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ





ああ、どうだ？中に出された気分は？  
うう、いやああ、  
（うそ、うそよ、こんな  
あの人も、まだ中には、）  
ははは、そうかそんなに良かったか  
俺もこんなに気持ち良い射精は久々だぜ  
金髪に抱かれるより  
こうやって犯せれる方が感じるだろ？  
もうイヤ！放してっ！  
ああ、終わったら放してるぜ  
おいお前ら、好きにしていざ  
えっ？、うそ、  
もうイヤよっ！やめて！  
やった！  
僕らともセックスしようよ  
絶対気持ちいいからさー

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ







あああ・・・  
中に出しちゃった  
子宮に注いであげたよ  
あっああ・・・ (また・・・中で・・・)  
へへ  
子宮の中で、  
ボスの精液と混ぜり合ってるね  
うっ・・・もう・・・ホントにやめて  
ティンアちゃんの膣気持良いから  
まだ入っていたいけど、交代するね  
えっ・・・もうイヤア・・・うう

あーっ  
あーっ  
あーっ



さあテイ○アちゃん  
次は僕達の番だよ  
うれしいでしょ？そんな泣かないでよ  
うっあっあん(ダメ・頭が真っ白になる……)  
僕達が繋がってるるところみんなに  
見てもらおうよ  
チンポで出入りしてるの見てもらおう  
いやあ！いやあ・あっ・あっ  
ああ気持ちいい。テイ○アちゃんは気持ちいい？  
さっきとあたってる場所違うでしょ  
あっ・あんっ、あっ、あっ！  
じゃあ中で出すよ  
しっかり受け止めてね



えん  
ズンズン  
ズンズン  
ズンズン

ズンズン  
ズンズン

フ

ぜ

フ

うっ……んんん……  
いや

あああ  
あああ

ん

しん

んん

パチン

110%

10%

ネチ

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ガリ

グリ

ズンズン  
ガリ

ドビュッ・ビュルル、ビュクビュク。  
うっイヤあああああああああつ!!

ゴホゴホ  
どど  
ぜ

イヤあああああ  
あああああ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ギョッ

ゼッ

ゼッ

オ  
ン  
コ  
ク

オ  
ン  
コ  
ク







グッ、ズルル

ズグッ

奥まで入ってるのわかる？  
あつ、あつ、ああん、あつ  
(まずい、また頭が、しびれて...)  
ポクの子○ポがティ○アちゃんの  
膣に出入りしてるよ  
ほら、エッチな音聞こえるでしょ？  
ああ、ああん、あううう、あつ。  
はあ、はあ、はあ、あ。  
(ダメ、何も考えられなくなってくる...)  
ティ○アちゃんの膣、気持ちよすぎる  
ポクもうイクよ  
ポクの気持ち受け止めてね  
あつ！あつ！あつ！あああ



ドッ

110%

110%

ズグッ  
ズグッ  
ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ  
ズグッ

はあ

あつ、あつ

あつ







いっぱい出たよティ○アちゃん  
 ティ○アちゃんもボクのチ○ポで  
 はあッはあッはあッはあッはあッ  
 (またイッてしまっただの？私  
 好きでもない人のに、どうして…)

すこい。まだ締め付けてくるよ  
 そんなに精液搾り取りたいの？  
 エッチだね。ティ○アちゃん  
 そんなわけない。はあはあ  
 (あそこが勝手に、動いちゃう…)

まだまだ出したいけど  
 交代するね  
 もうちよつとがんばってね

ビクビク

ズルズル

ゴッ

ヒュー

ドォォ

ヒュー

グッ





はあはあ、いっぱい出たよティンアちゃん  
ティンアちゃんもイッチャったね  
はあ、はあ、はあ、ううっ、うう  
（また、中に出された、）  
彼も中には出してないのに、こんな人達に、）  
中出し許してくれたってことは  
ティンアちゃんもボクを愛してくれてるんだね  
そんなわけ、はあはあ、ないでしょ  
マ○ンのためよ、はあはあ、  
早く、離れてよ、はあはあ  
素直じゃないところもかわいたね  
みんなに中出しされて良かったね

ガッ

信じられない、こんなこと、  
（最悪、）はやく洗わないと、  
ティンアちゃんはエッチだね  
おマ○コギユウギユウ絞めてくるよ  
みんなの精液が子宮に入って喜んでるのかな



ははは  
よくがんばったな  
全員中出ししたぜ  
うっ・マ・マオンは  
安心しろ、ガキはアンタが  
こいつらに乗っかられて  
アンタに言ってる間に裏口から帰しておいたぜ  
今頃店に帰ってるじゃねえか  
えっ・じゃあ・私は何のために  
ははは人質も何もないのによくがんばったな  
いや、がんばってないか、アンタも楽しんでたもんな  
そ、そんなことない・楽しんでたなんて  
(ありえない・楽しんでたなんて)

はあ  
はあ  
はあ  
はあ

一つ言っておかないといけない事があるんだ  
な、何なの・もういいでしょ、これ以上は  
実はこの部屋にカメラが仕掛けておいたんだ  
えっ! どういうこと? (まさか・今までの行為が)  
ははは、写真も映像もバッチリ撮れてるぜ  
アンタが男に犯されてるころがな、これ、ばら撒けばどうなるかな?  
いや・やめてっ! ダメ、それはダメッ! (彼の目に入ったら・もう・)  
もちろん、ばら撒きはしないさ、これからアンタが言う事聞けばな  
そんな・最低・これからアンタが言う事聞けばな  
今日は帰っていいぞ、またやりたくなったら、店に行くからよ  
楽しみに待ってな、ははは  
うっ・(これから) (こんなことが続くの・)  
私、どうなってしまふんだろ・何とかしなきゃ・)

(こんな良い女このまま逃がす手はねえ  
抵抗させない材料はそろってる  
これからも好き勝手やらせてもらうぜ・)

エロエロ

Handwritten red mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten red mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten red mark resembling a stylized character or symbol.

Large handwritten red mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten white mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten white mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten white mark resembling a stylized character or symbol.

Handwritten white mark resembling a stylized character or symbol.



れろろろ

れろろ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

れろろ

れろろ

れろろ

れろろ

れろろ

れろろ

れろろ







ソト

セク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

セク

セク

セク

セク

セク

セク

セク

セク

セク



ドクン  
ドクン  
ドクン

ドクン

ドクン  
ドクン

ドクン  
ドクン

ドクン  
ドクン  
ドクン  
ドクン

ドクン

ドクン

ドクン



ヒッッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

ガッ



ガハハ

グイッ

グイッ

グイッ

グググ...

グググ...

グググ...



グッ

!!

ガッガッガッ

ハッ

グッ

ハッ

グッ

ガッ...



ガッ

パン

パン

パン

グッ

グッ

グッ  
グッ  
グッ

ググ...





ぐわー

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ML

セリ

セリ







がばあ

アッアッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



エッ

エッ

エッ

グッ

グッ

グッ

グッ...













パチン

パチン

パチン

パチン

パチン

パチン

パチン

パチン





ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク





ヌル

クッ

ヌル

グ

ク

ガ

ク

グ

パチ

パチ

パチ

パチ

ズ

パチ

ズ

パチ

パチ



はたはたはたはた

ドクドク

ドクドク  
ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

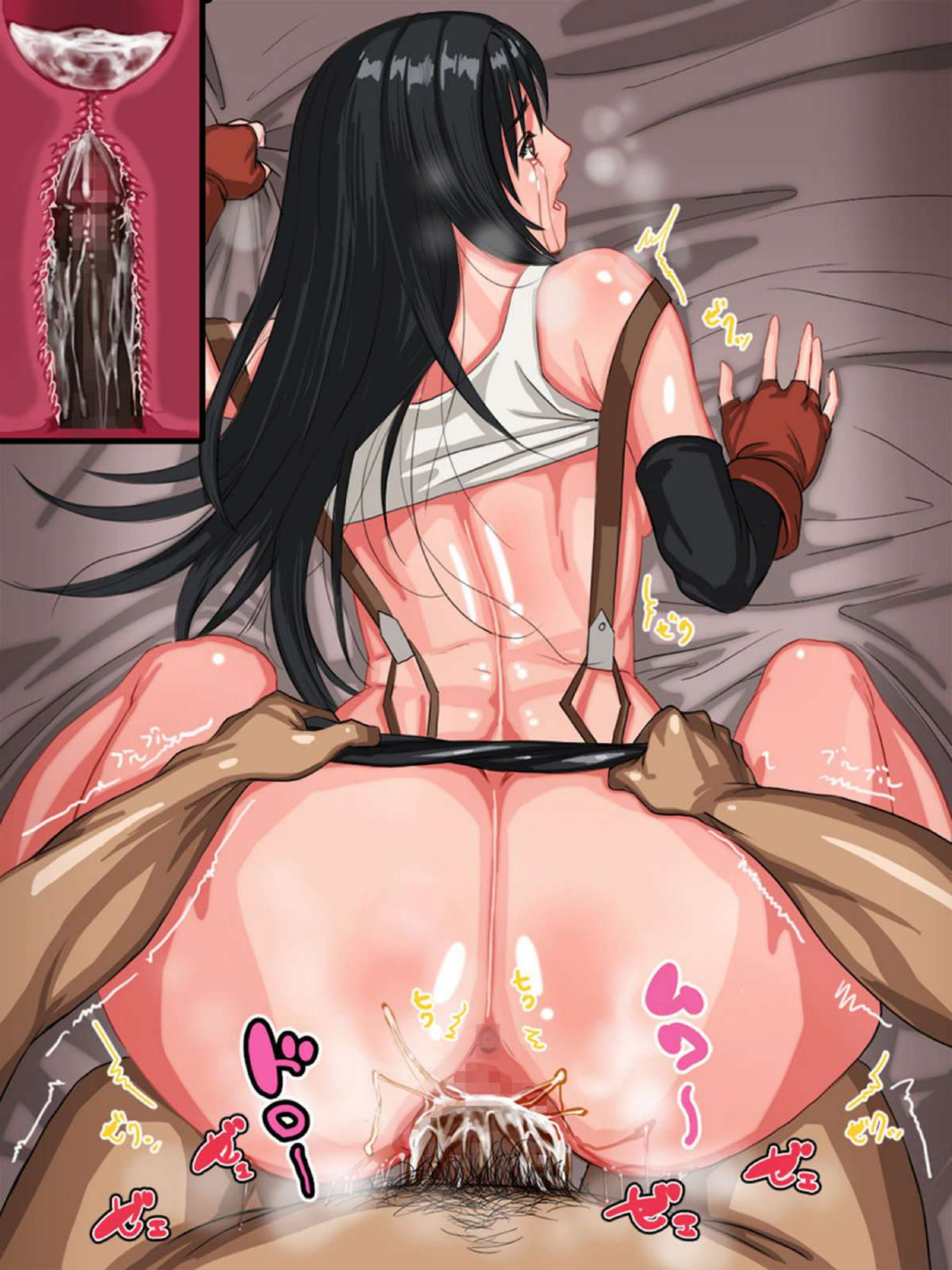
ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク





ゼッ フ

スッ  
ズッ  
ズッ

ゴッ

ゴッ

1100%

100%

100%

ズッ  
ゴッ  
ズッ

ネッ

ゴッ

ゴッ

ズッ  
ゴッ



ゴッゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ



ゼッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ

ゴッ  
ゴッ

ゴッ...







アッ

この血が...









大きな乳房



大きな尻

大きなお尻

大きなお尻





99

30300